



式辞(要旨)
本日学院創立136周年記念式を迎え誠に喜びに耐えませんが、今日迄の136年間、歴代の関係各位のご努力とご支援に、深甚なる敬意と謝意を捧げるものです。

「学院大の飛躍的發展」
次に戦後の学制改革に際し、本学は時代の先端を走り、昭和25年に短大を、28年に道元禅師700回大遠忌の報恩事業として大学を創設した事です。旧制の中学・女学校をベイスに短大、大学へと進展した戦後教育界発展のトップをきつたもので、小出有三初代学院長の先見の明と実行力に心から敬意を表すものです。

「大学教育の質的転換に向けて」
学院長 小出 忠孝
学発展のため大貢献をした事です。これにより本学のステータスは飛躍的に向上し財政的基盤も確立され、大愛知学院発展の原動力となりました。

「教育研究環境の充実」
現在わが国では急速な高齢化の進展に伴う国民の健康で長寿の要望に対し、本学では医療薬学科、健康科学科、健康栄養学科を、大学院に薬学研究科、及び健康科学専攻の研究科を増設し医療系分野特に健康関連分野を増強し、国民の要請にこたえています。

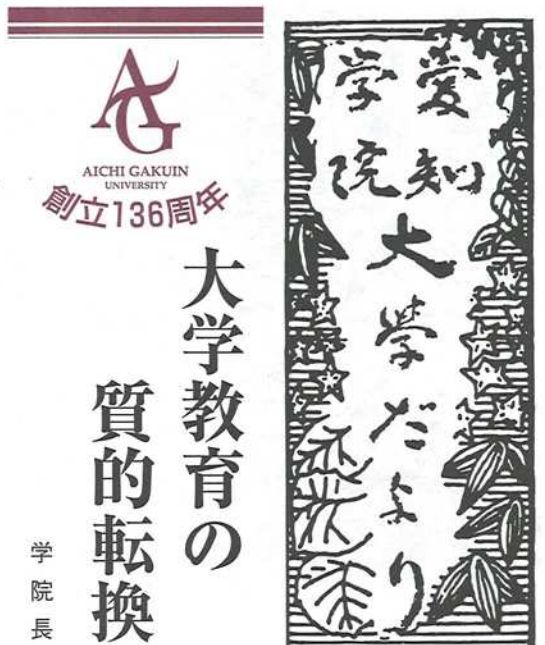
「学院大学の誇りを」
以上本学では時代の変化に対応し絶えず改革の努力を続け、教育研究の充実に努めています。一方私学として決して「変えてはならないもの」がある事を忘れてはなりません。それは創立以来堅持してきた建学の精神「行学一体・報恩感謝」です。この建学の精神を体した学生を、一人でも多く社会に送り出す事が、私学としての本学の特色であり使命です。本日創立136年の輝かしい歴史をふり返り、学院の今日ある姿を理解した時「学院大の教職員・学生であることに大きな誇りを持つて頂きたい。そして本学が21世紀にさらに大きく飛躍するため、各人が夫々の立場で努力される事を望みます。

40年勤続者
総務部 理事・部長 近藤 俊英
心身科学部 教授 千野 直仁
歯学部 准教授 高橋 好文
主 任 小竹 正代
歯学部事務局 事務職員 村松 典子

35年勤続者
商学部 教授 酒井 邦雄
教養部 教授 川口 高風
歯学部 教授 金森 孝雄

25年勤続者
文学部 教授 鈴木 俊次
経営学部 教授 林 伸彦
教養部 教授 河野 敏宏
教授 福山 悟
准教授 野口 俊英
准教授 竹内 一夫
准教授 橋本 和佳
准教授 柴田 弘隆
管財課 長 関谷 常徳
係 長 横井 泰典
総合政策学部事務局 事務職員 野口 裕子
事務局 事務職員 野村 美和
薬剤師 鶴岡 孝子
歯学部 事務職員 若山 清美
短大事務室 事務長 大竹 嘉鑑

15年勤続者
経営学部 教授 飯島 康道
文学部 教授 伊藤 孝幸
教授 松崎 博
心身科学部 教授 池田 豊應
歯学部 教授 宮澤 健
特別診療科 教授 森田 一三
講師 岩田 敏男
准教授 茂木真希雄
助教 森田あや美
主計課 長 橋本 秀晃
事務職員 元平 敬子
管財課 技術員 安藤 彰規
図書館情報センター 事務職員 仙石真夕美
事務職員 田村 仁美
歯学部 事務職員 栗田千佳子
歯学部 事務職員 日比 麻未
看護部主任 八木 芳苗



第182号
編集発行
愛知学院大学
事務局 庶務課
☎ 470-0195
愛知県日進市岩崎町
阿良池12
電話 ☎(0561)73-1111(代)

「名城公園キャンパス開設」
一方創立136年に当たり大学の一大躍進を期し、名城公園東に新キャンパスを開校します。勉学に最適な落ち着いた環境にあり、しかも大名古屋経済圏の中心に位置し交通の便は最高です。この地区で商・経営と新設の経済の、ビジネス系三学部の二年以上の教育を、平成26年度より行う予定で新学舎を建設中ですが、環境配慮型キャンパスを特長とします。躍動する社会と密接な連携のもと、教育の充実を図ると共に、大都市名古屋の知的拠点を構築、さらに官公庁をはじめ経済界及び各界との交流拠点を形成します。また市民の生涯学習のための市民講座や近隣商店街との連携等、経済・文化発展の核となることも目指します。大学ではこれを契機に教育・研究の発展と社会貢献のため邁進する覚悟です。

「名城公園キャンパス開設」
一方創立136年に当たり大学の一大躍進を期し、名城公園東に新キャンパスを開校します。勉学に最適な落ち着いた環境にあり、しかも大名古屋経済圏の中心に位置し交通の便は最高です。この地区で商・経営と新設の経済の、ビジネス系三学部の二年以上の教育を、平成26年度より行う予定で新学舎を建設中ですが、環境配慮型キャンパスを特長とします。躍動する社会と密接な連携のもと、教育の充実を図ると共に、大都市名古屋の知的拠点を構築、さらに官公庁をはじめ経済界及び各界との交流拠点を形成します。また市民の生涯学習のための市民講座や近隣商店街との連携等、経済・文化発展の核となることも目指します。大学ではこれを契機に教育・研究の発展と社会貢献のため邁進する覚悟です。

愛知学院創立136周年記念式典が10月13日(土)午前11時から日進キャンパス百年記念講堂で挙行政され、式典では小出学院長の式辞に続き、勤続表彰、クラブ表彰などが行われた。

また、平成24年度永年勤続表彰は次の皆さん。

10月13日
創立136周年記念式典を挙行政



創立136年を迎えて 教育改革による 人材育成体制の構築

学長 大野 榮人

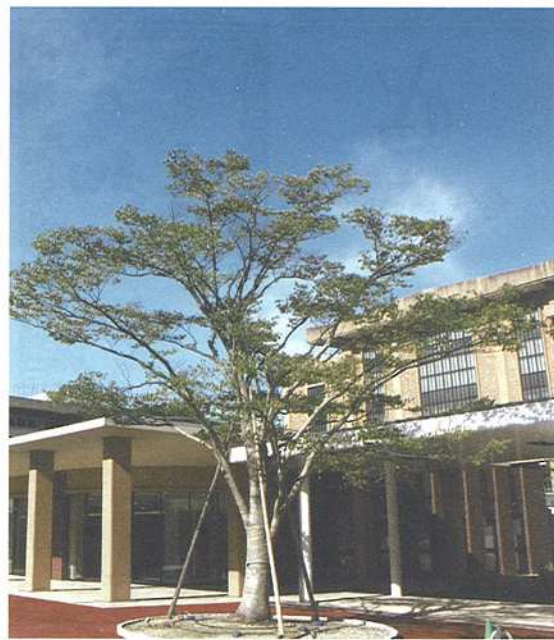
愛知学院は、10月15日に創立136周年を迎えました。

今日に至るまで、愛知学院大学を支えて下さいました教職員や11万余名の同窓生や学生の皆さまに對しまして、衷心より御礼を申し上げます。

伝統のある愛知学院大学が更なる発展を遂げていくためには、全教職員が危機意識をもって、教育と業務を真摯に遂行して頂かなくては、大学の未来はありません。

大学が大学であるためには、何よりも社会が求める「人材の育成」がなされなくてはなりません。今日の社会が求める人材は、次のように分類することが出来ます。

- (1)「熱意・意欲・行動力・実行力・協調性・問題解決能力・倫理的思考・コミュニケーション力」などの人間としての基礎能力を持った人材。
- (2)「課題発見・解決力・問題解決の方法論・計画力・批判力・国際性・個性・特性・潜在能力の開発」など社会人としての能力を持った人材。
- (3)社会人としての基礎力として、①「主体性・働きかけ力・創造性」などのアクシヨニ力。②「課題発見力・計画力・創造性」などのシンキング力。③「発信力・傾聴力・柔軟性・状況把握力・規律性・ストレスコントロール」などのチームワーク力をもった人材の育成が絶対に必要です。



大学教育において、これらのことを実行して、ブランド力を高めなくてはなりません。そのためには、まず大学の内部改革が必要です。具体的には、次の重要課題を実行していかななくてはなりません。

- (1)抜本的な教育改革を断行し、教育の質の保証制度を確立するため、「初年次教育(ポートフォリオなど)」「授業改善の検証システム」の導入。
- (2)学生の自立・自立支援体制を確立するため、「TA・SABIAサポート制度の確立」「特別講演会の開催」「コミュニケーション」のできる場所の設置」などを実施。
- (3)海外で働く人材を育成するためには、全学生に「TOEIC・TOEFL」の受験料を無料化させたい。また、英語しか使用できない授業を実施させたい。実際に教養部において来年度より実施していただきたい。
- (4)退学者を減少させるために学習・相談支援を充実。
- (5)就職率(アエラ率)を100%にするためには、キャリアセンターだけでなく、4年生のゼミ担当教員の更なる協力が必要です。SPI(数的処理)対策講座は、133年生の受講を義務化したい。
- (6)時代に即応した事務組織や機構改革の実施も重要な課題です。
- (7)経営組織の抜本的な改革を推進し、箱物を造るだけでなく、教育に財源を投資する大学にしなければなりません。

学生自身に「やる気」「本気」を喚起してもらうためには、1年次の教育が最も重要です。一人ひとりの学生さんに生きるための「明確な目的意識」を持ってもらい、自ら

主体的・自主的に学び、将来いかなる職業に従事するか、明確な自分の人生の「設計図」を描き、目的を達成して頂きたいと願っております。

その目的を達成してもらうために、4月以来、学部長会・教務委員会・各学部教授会などにおいて、検討をして頂いております。やれることから実行していきます。抜本的な教育改革に向けて、教職員の皆さまのご協力を頂きたいお願い申し上げます。

私は、「教育」に終着点はない、と考えています。社会が大学に求める人材も変容し、入学してくる学生さんの質も毎年異なります。各学部のカリキュラムや教員の教育が、人材を育成することが可能かどうか、都度、点検・変更して頂かなくてはなりません。

さて、今年4月より昨年、本学の東日本震災復興ボランティアに参加して頂いた学生さん達と学生部の支援によって、「AGUボランティアセンターSASステーション」(本部棟1F)を立ち上げて頂きました。毎日、学生相談を実施して頂き、学内や日進市のボランティア活動にも参加していただき、厚く御礼を申し上げます。

今年も東日本震災復興ボランティアに多くの学生さんや教職員の皆さまが参加して下さい。心よりお礼を申し上げます。今年も岩手県気仙郡住田町を拠点に、陸前高田市・大船渡市と、大萱生寛海君が犠牲になられた故郷の大槌町にも行っていただきまし

す。衷心より感謝申し上げます。136周年を機に、更なる発展を遂げるために、教職員・学生・後援会・同窓会のご協力をお願い申し上げます。

第1回

大学生のための特別講演会開催

9月27日(木)午後3時30分より日進キャンパス百周年記念講堂において、大学生のための特別講演会と題し、「ジャストミート」や「ファイヤー」の台詞でお馴染みのフリーアナウンサーの福澤明氏を招き、「学生生活とコミュニケーション」をテーマに講演いただいた。

この特別講演会は本学学生が今後のキャリアデザインの目標を持つための一助として、著名な方を招き、講演を聴くことによって人生観や社会性を身につけてもらうために今年より度新たに企画されたものである。

講演会には本学学生及び一般の方708名が来場し、福澤氏による軽快なトークに参加した学生らは惹きつけられ聴講していた。

講演会は福澤氏のプロフィール紹介から始まり、名台詞「ジャストミート」や「ファイヤー」の誕生秘話など、誰もが聞き入ってしまう話が多数あった。

第2回

大学生のための特別講演会開催

第2回大学生のための特別講演会が平成24年11月28日水曜日15時30分～16時30分、日進キャンパス記念講堂にて行われます。

講演者は、前宮崎県知事、東国原英夫氏です。演題は「ピンチをチャンスに」。学生の方を対象にした講演会ですが、一般の方もご参加いただけます。入場は無料です。

学生生活に生かす事ができる素晴らしいお話を聞くこ

第10回 ボンド大学 交換留学生決定

今年で10年目となるオーストラリア・ボンド大学への交換留学生に文学部グローバル英語学科3年奥山直樹君が決定した。

7月24日(火)日進キャンパス学長室にて奨学金伝達式が行われ、伝達式では、引田弘道国際交流センター所長、指導教官の先生らが見守る中、大野榮人学長より奨学金30万円がそれぞれ手渡された。

奥山君は9月初から12月末までの1セメスターを交換留学生としてボンド大学附属語学学校BUELIで語学を中心に学ぶ。

奥山君はグローバル英語学科の正規科目であるオーストラリアの研修経験を経て、今回さらに現地の大学生と交流することによって多くの刺激を受け、将来の自身のキャリアに活かしたいと抱負を語っていた。

奥山君のオーストラリアでの学習が実り多きものとなることを祈念する。



とができるチャンスです。奮ってご参加ください。

●整理券配布●
平成24年10月29日月曜日9時より教学センター学生課窓口にて配布中。

愛知学院創立136周年記念式典が行われた10月13日(土)午前10時より物故者追悼会が厳修された。

物故者追悼会では、中野重哉理事長が導師をつとめられ、厳かのうち営まれた。

この日の慰霊の対象は、平成23年10月1日から平成24年9月30日までの間に逝去の届出のあった本学院関係物故者82霊位(うち教職員48名、学生34名)。

ご遺族、教職員、大学後援会、同窓会役員、学生らが参列し、読経の中参列者らが焼香をし、法要の最後に中野理事長が挨拶を述べ、物故者の冥福をお祈りした。



名城公園キャンパス

地鎮式挙行

8月22日(水)午前11時より平成26年4月開設される名城公園キャンパスにおいて地鎮式が執り行われた。

地鎮式には本学関係者をはじめ、報道関係の方の参加も多数あり、中野重哉理事長が導師のもと厳かに行われた。式中には中野理事長、小出忠孝学院長、大野榮人学長らによる鎮入れが行われ、名城公園キャンパス開設に向けての工事の安全と、本学のますますの発展と隆盛が祈願された。

名城公園キャンパスは平成26年3月竣工を予定しており、今後本格的な工事に入る。



歯学部歯科理工学講座

福井壽男教授らが「日本金属学会・論文賞」受賞

本歯学部の福井壽男特殊基礎研究教授の下記論文が、第60回日本金属学会の受賞論文に決定し、平成24年9月17日から愛媛大学で開催された第151回日本金属学会2012年秋季学術講演大会において授賞式が執り行われた。

壽男教授が受賞した。

本研究の目的は、生体皮質のヤング率に近似させて、現在問題になっているストレスシールドニングによる生体の骨吸収を低減させ、さらにアーチファクトを抑制して、鮮明なMRI画像が得られる従来の生体用Ti系合金に代わる、新しいZr-Nb系合金の開発である。本論文の受賞は、Tiとは同じ生体適合性を有するZrに着目し、それにβ安定化金属であるNbを添加し、優れた機械的性質と生体適合性を有するZr-Nb系合金の創製に関するもので、Zrを主成分とする独創的な発想に基づく生体用Zr-Nb系合金の設計であり、その将来性が高く評価されたものである。

著書紹介

『ガイドライン生涯発達心理学(第2版)』

二宮克美・大野木裕明・宮沢秀次(編)

「胎児期から成人期後期までの各段階における個性化と社会化、課題、障害とその支援まで豊富な内容をコンパクトのわかりやすく解説した好評テキストの改訂版」



【A5判・216頁】
税込価格2,100円
2012年10月刊行
ナカニシヤ出版

【二宮克美】

本学総合政策学部・教授。
宮沢秀次は名古屋経済大学教授で、本学非常勤講師。

夏のオープンキャンパス

高校生ら6527人が参加

今年も夏のオープンキャンパスが、7月27日(金)・28日(土)に開催され、6527人の高校生らが訪れ賑わった。

今年度の夏のオープンキャンパスは、29日(日)に大手予備校の模擬試験が実施されることにより、初めて平日開催となった。

平日開催という事もあり、昨年度と比較し保護者の方の来場が若干減少したが、高校生の参加は昨年度よりも多く、18歳人口が減少する中、来場者数が危惧されたが、ほぼ昨年度と同数の高校生や保護者の方が来場された。

オープンキャンパスは高校生や保護者にキャンパスを開放し、愛知学院大学をより知ってもらうためのイベントで、学部教員による個別相談会、模擬講義、保護者対象説明会、予備校講師による受験対策講座、入試・資格・就職等の相談コーナーや、在学生によるキャンパスツアー、サークル体験など、内容も充実している。

夏のオープンキャンパスで高校生らの関心が最も高かったのは、カリキュラムや学習



支援体制を中心とした学部学科別相談会や入試などの説明会で、また模擬講義にも多数の高校生が参加し大学での講義に直接触れ、参加した高校生からは「学部学科の学習内容の違いがはつきりわかり、進路選びにとっても参考になった」「とても良い環境で勉強しやすい」「在学生の案内や相談の教職員の対応が丁寧でわかりやすかった」などの感想が寄せられた。また保護者からも「就職支援体制や学習環境の支援体制がしっかりしている」「在学生の積極的な姿が良かった」などの声が聞かれた。

本学法学部卒業

宇城元君

ロンドンパラリンピック入賞



本学法学部法律学科を平成7年卒業の宇城元君が、今年8月末に英国で開催された、障害者スポーツの祭典・ロンドンパラリンピック競技大会に、バウリフティング日本代表として出場し、アテネ大会に引き続き見事7位入賞した。

今大会では体調を崩し万全な体制で挑む事はできず、自身が持つ記録に及ばず本人にとっては不本意な結果となったが、前回出場したアテネ大会に引き続き世界の祭典であるパラリンピックにおいて7位入賞は賞賛に値する好成績である。

宇城君は本学在学中バイク事故で脊髄を損傷し、車いすでの生活を余儀なくされた。在学中もウェイトトレーニング部に所属していたが、車いすでの生活の絶望感の中、ベ



ンチ台に体を仰向けに横たえた状態でバーベルを一気に上げるベンチプレスは、健常者も障害者も同じ土俵で戦える、競技にのめり込んだ。また、10月13日(土)の本学創立記念日において、宇城君にパラリンピック入賞を讃え特別表彰として、大野学長より表彰状ならびに記念品が贈られた。

第60回 愛学祭 テーマ「つながり」

本年度第60回目を迎える愛学祭が11月1日から3日までの3日間、日進キャンパスで開催される。

今年のテーマは「つながり」。このテーマには、人は生まれながらにたくさんの人とつながり生きていく。それは

一番身近な親や友人、恩師、先輩、後輩など必ず誰かとつながって生きていて、決して誰も一人では生きていない。60回目を迎えることができたのもお客様や参加団体をはじめ、大学や地域の皆様への支援が

愛知学院大学 平成24年度文部科学大臣委嘱 図書館司書・司書補講習

本学での司書・司書補講習は、昭和27年に補元キャンパスにて開始してから、今年で59回目になります。これまでの本学講習で資格取得された修了者は、司書と司書補を合わせて1万人を超えており、図書館をはじめ、幅広い分野において活躍されています。

今年度は、7月16日(月)に日進キャンパスけやきテラス3階ホールにて開講式が行われ、大野榮人学長、来賓の愛知芸術文化センター愛知県図書館・森田茂館長、講習講師代表として法学部・梅川正美教授からご挨拶をいただきました。開講式終了後には、受講者を対象とした図書館情報センターの見学も実施されました。

今年度の司書講習は、新カリキュラムでの開講となり、講習期間が約2ヶ月半に延長となりました。大学の秋学期講義開始以降も講習が継続したため、講習使用教室や学内設備の利用では、受講生にご不便をおかけしたこともありましたが、本学キャンパスの活気ある雰囲気を感じていた

あったから。60回目を迎える今年度は原点に戻り、皆様への感謝を忘れず、また、愛学祭を通して来場者や参加団体、大学、企業、地域の皆様など、この愛学祭に関わる全ての人のつながりを大切にしたい。そしてこの第60回愛学祭も、この先の愛学祭へとつながっていく。今年のテーマを「つながり」とした。



愛学祭実行委員の願いが一人でも多くの方に届くこと、また、皆様にもこの愛学祭を通じて改めて人と人のつながりを実感していただけることを心より願って開催される。今年度も多種多様な企画が盛り込まれており、多種多様な方々が本学に集まり、それぞれ参加いただいた方が「つながり」を感じ取っていただきたい。

(図書館情報センター 榊原飛鳥)

硬式野球部

愛知リーグ

6季連続45度目優勝

北陸・東海3連盟代表戦は惜しくも逃す

10月14日、瑞穂球場で第7週の2回戦があり、本学は名城大学に2-0で勝ち6季連続45度目の優勝を果たした。今年の秋季リーグは最後の週末まで優勝争いがもつれた。初戦で愛知産業大学に連敗し勝ち点を落とした本学は、気持ちを切り替え、その後の対戦相手4校に8連勝し優勝を勝ち取った。

伊藤監督も「開幕戦を連敗スタートした中で優勝できたのがうれしい。勝って終わりを下ろしたような表情を見せた。最優秀選手賞に田中友博君(法律学科4年)、最優秀防御(法律学科4年)が選ばれた。また、10月29日(月)瑞穂球場において、愛知・東海・北陸3連盟王座決定戦が行われ、東海地区大学野球連盟1位の三重中央大学と対戦し、今年のドラフトで楽天2位指名の則本投手に1-2で破れ、惜しくも神宮大会への出場を逃した。

率賞に波多野俊彦君(歴史学科3年)が選ばれ、ベストナインに萩原大起君(投手・現代企業学科3年)、大迫建斗君(二塁手・現代企業学科4年)、長田涼平君(三塁手・法律学科4年)、田中友博君(遊撃手・法律学科4年)、浜内優弥君(外野手・現代企業学科4年)がそれぞれ選ばれた。

秋季学位記授与式

平成24年度秋季学位記授与式が9月28日(金)日進キャンパス本部棟3階大会議室、楠元薬学部棟会議室にてそれぞれ行われた。

今回対象となったのは学部生76名、大学院修士課程前期修了者2名。

日進キャンパスでは大野榮人学長の式辞、竹市良成教務部長、飯島正樹経営学研究所長、向経営学部長の祝辞に引き続き学位記授与式終了後、各学部に分かれて学部長よりそれぞれ学位記が手渡された。また、楠元キャンパスにおいても、大野学長式辞の後、



楠元学部長の祝辞の後、学位記が手渡された。卒業、修了された方の今後の活躍を祈念したい。

海外語学研修に参加して イギリス・カナダ・オーストラリア

イギリスコース

総合政策学部総合政策学科
4年 鈴木 裕紀子

海外語学研修、本当に有意義なものでした。3週間はあまりにも短く、あっという間でした。英会話に、生活に、マナー……。不安ばかりでした。いざ行ってみると英会話の得意でない私でも、ホストファミリーとの会話や授業に慣れるうちに段々と積極的になることができました。海外にいる間にしかできないこと、見知らぬ土地で多くの現地の人といかに話すか、ちょっとした買い物や道を尋ねるときも臆することなく話しかけ、身ぶり手ぶりでいいから伝えることを心がけました。観光の町ということも相まって、か、お店の方が話しかけてきてくれることが多かったです。時折、拙い英語ゆえに困惑させたこともありましたが、



カナダコース

法学部法律学科
2年 角谷 瞬

最初の会話で伝わった時の喜び、それでも伝えられたという達成感は大変なものでした。私の受けた授業は、四技能中心の授業で十名のうち六名が日本人、二名がイタリア人、二名が台湾人でした。ペアワークやグループワーク中心に授業をし、相手の国のことを知る、自国のことを伝えるというものでした。最初は戸惑い、躊躇していましたが、慣れるうちに積極的に会話できるようになり、終盤では段々と英語を話すことが楽しくなりました。今思えば、最初から日本語を全く使わないでいるべきだったと後悔しています。

スコットランドでは中世の街並みと現代の街並みが見事に共存していて、old townでは古き良き街並みを残しつつ、New townでは現代らしい美しい造形物が多くみられました。特にOld townではお城と宮殿を結ぶ大通りがとても魅力的で、いつまでも散策したいほどでした。四年まで諦めきれずに行った留学。学生十七名、それぞれがいろんな思いで留学に臨み、何かを見つけてこられたと思います。この機会を与えてくれた両親、お世話になったホストファミリー、引率の先生方、現地の講師の方々、研修仲間感謝し、経験を糧にしていきたいと思っています。本当にありがとうございました。



ビクトリアは朝が少し肌寒いくらいでかなり過ごしやすかったです。朝は日本と同じくらいに太陽が昇り、午後八時過ぎくらいに沈むくらい日照時間はかなり長かったです。なのでホストファミリーと午後八時過ぎくらいまで卓球を庭で楽しみました。

食事はお世話になるファミリーによって差はあると思いますが、僕のホストファミリーは想像していたような脂っこい食事ではなく、サンドイッチなどが多くヘルシーなものでした。今回のビクトリアへの語学研修を通して英語を学ぶという以外でも多くのことを学ぶことができました。このことをこれから活かして生活をし、また英語圏の国に行きたいと思っています。

オーストラリアコース

文学部国際文化学科
3年 田中 真理奈

わたしは、8月4日から8月27日までオーストラリア語学研修に参加しました。今回オーストラリアに参加したメンバーが8人しかいなかったもので、少人数で出発できるのが不安でした。しかし、廃止されることなく、無事にオーストラリアへ行って、今まで経験したことがない楽しさが待っていました。オーストラリアの8月は、日本とは季節が逆で冬でしたが、日中はポカポカで、日差しも日本の夏のように強いので、足だけなら海に入れるくらい暖かくて過ごしやすかったです。海はすごく綺麗で透き通っていて、毎日が青空で、現地の人は元気でノリがよく、話しかけてくれたり、一緒に写真を撮ってくれたりしました。24日間、毎日が晴天で一日も雨が降らなかったもので、それだけでも幸せな毎日を感じていました。

たくさんの思い出は、ボンド大学の生活で多くできました。様々な国の人と触れ合えて輪が広がったことが多民族国家であるオーストラリアだからこそ経験が出来る気がします。私のクラスは、日本、韓国、台湾、ブラジル、ロシア、コロンビアなどの国際的なクラスでした。特にブラジル人がすごく発言していて、コミュニケーション力の差を感じましたが、そこから学ぶことが多くあったので、すごく勉強になりました。授業後には、ビーチバレー、卓球、テニス、などのスポーツを体験でき、他クラスの友達や、あまり面識がない人とも一緒に交流が深まりました。また、

た、大学からバスに乗り、近くのショッピングセンターまで行って買い物をしたり、スーパーで食材を買ってビーチでバーベキューをしたりして毎日授業後は本当に充実していました。ホームステイ先は、濃い日々を送っていました。予定していたホームステイ先がある理由で、新しいホームステイ先に変更してしまつたため、初日から不安でいっぱいでした。しかし、まだ若いホストマザーでしたが、6児の母ということで、たくましい方で毎日学校まで送り迎えをしてくれたり、笑顔で話してくれたりして優しく接してくれました。子供たちの中にはやんちゃな子もいましたが、最終的にはみんな慕ってくれたのでよかったです。ある意味、毎日が波乱万丈でしたが、忘れることのない良い思い出となりました。



私がオーストラリアで過ごした24日間は、得ることが多く、これまでの人生で一番の思い出となりました。8人で協力し合って仲良く過ごしたこと、ボンド大学で多くのに出会えたこと、素晴らしい環境で英語を学べたことなど全てが一生の思い出です。機会があれば、もう一度留学してみたいと思います。

平成24年創立記念日クラブ表彰一覧
(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

▷一般表彰(団体の部)

クラブ名	大会名	成績
弓道部	東海学生弓道選手権大会	Aチーム：優勝
ソフトテニス部	愛知県中学生弓道選手権大会	女子団体：優勝
硬式野球部	第85回愛知学生ソフトテニス大学対抗リーグ戦	優勝
サッカー部	第86回愛知学生ソフトテニス大学対抗リーグ戦	優勝
スキーク	愛知・東海・北陸三連盟王座決定戦	優勝
相撲部	明治神宮野球大会	準優勝
バレーボール部	愛知大学野球春季リーグ戦	優勝
競技ダンス部	全日本大学野球選手権	ベスト8
ウエイトレーニング部	愛知学生サッカー選手権大会	優勝
日本拳法部	東海学生基礎スキー大会	優勝
ヨット部	全国学生相撲選手権大会	Cチーム：優勝
ラグビー部	東海大学男女バレーボールリーグ戦秋季大会	優勝
バレーボール部(女子)	愛知大学男女バレーボールリーグ戦秋季大会	優勝
空手道部	学生競技ダンス選手権大会学年別戦	優勝
将棋部	中部日本学生競技ダンスラテン選手権	優勝
吹奏楽団	中部日本学生競技ダンス選手権種目別戦	優勝
	中部学生ボディビル大会	優勝
	中部日本学生拳法選手権大会	男子団体：優勝
	秋季中部学生選手権	団体：優勝
	全国地区対抗大学ラグビーフットボール大会	優勝
	愛知大学男女バレーボールリーグ戦秋季大会	優勝
	天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会愛知県ラウンド	優勝
	東海学生空手道選手権春季大会	女子団体組手：優勝
	日本空手協会東海地区大会	男子団体形：3位、男子団体組手：ベスト8
	全国空手道選手権大会(団体戦)	男子団体形：優勝、女子団体組手：優勝
	東海地区大学空手道選手権大会	B級：優勝
	中部秋季団体戦	トロンボーン4重奏：金賞
	アンサンブルコンテスト愛知大会	

▷一般表彰(個人の部)

学科	氏名	クラブ名	大会名	成績
総合	潮田 駿	弓道部	東海学生弓道秋季リーグ戦	男子個人：優勝
総合	〃	〃	東海学生弓道秋季リーグ戦	男子個人：優勝
総合	〃	〃	全日本学生弓道選手権大会	個人：6位
心理	高橋美沙希	〃	全日本学生弓道遠征選手権大会	個人：4位
商	藤田東喜央	ソフトテニス部	愛知学生ソフトテニス大学対抗リーグ戦大会	優勝
現企	津村 康太	〃	愛知学生ソフトテニス大学対抗リーグ戦大会	優勝
現企	青木 雅彦	〃	西日本大学ソフトテニス選手権大会	優勝
現企	萩原 大起	硬式野球部	愛知大学野球春季リーグ戦	優勝
現企	大迫 建斗	〃	愛知大学野球春季リーグ戦	優勝
現企	濱内 優弥	〃	愛知大学野球春季リーグ戦	優勝
経営	石橋 拓朗	〃	愛知大学野球春季リーグ戦	優勝
歴史	山本 賢太	柔道部	東海学生柔道冬季優勝大会	1部：優秀選手賞
歴史	〃	〃	愛知県別柔道選手権大会	2段の部：優勝
歴史	〃	〃	東海学生柔道体重別選手権大会	100kg級：優勝
法律	鈴木 航	〃	愛知県別柔道選手権大会	参段の部：優勝
健康	渡邊 理也	〃	東海学生柔道体重別選手権大会	優秀選手賞
経営	小林 大起	少林寺拳法部	少林寺拳法東海学生大会	立合評価法：優秀賞
総合	丸山 隼士	スキーク	東海学生基礎スキー大会	男子個人：優勝
総合	稲原 優太	相撲部	東海学生相撲選手権大会	個人：2位
現社	近藤 哲平	〃	西日本学生相撲個人体重別選手権大会	75kg未満：2位
現社	〃	〃	全国学生相撲個人体重別選手権大会	75kg未満：ベスト8
商	深谷 峻平	馬術部	愛知学生トライアル競技会	馬場馬術課目A：優勝
商	〃	〃	中部学生自馬競技大会	総合馬術：優勝
健康	橋本 貴人	バレーボール部(男子)	東海大学男女バレーボールリーグ戦秋季大会	リベロ賞
健康	〃	〃	東海大学男女バレーボールリーグ戦春季大会	リベロ賞
総合	山内 晶大	〃	東海大学男女バレーボールリーグ戦春季大会	最優秀新人賞
健康	池田龍之介	〃	西日本大学バレーボール5学連選抜対抗戦	スパイク賞
日文	田川 貴一	競技ダンス部	学生競技ダンス選手権大会学年別戦	総合優勝
ビジネス	小緑 大貴	〃	中部日本学生競技ダンスラテン選手権	団体総合：優勝
ビジネス	〃	〃	中部日本学生競技ダンス選手権種目別戦	団体チャリティ、サンバル：優勝
総合	高谷 智史	〃	中部日本学生競技ダンス選手権種目別戦	団体ワルツ：優勝
現企	藤井 和真	ボウリング部	東海地区年代別ボウリング選手権大会	20代の部：準優勝
現社	石川 裕起	ボクシング部	中部学生ボクシングトーナメント	ライトウェルター級：優勝
歴史	林 愛人	〃	中部学生ボクシングトーナメント	ウェルター級：優勝
宗教	鈴木 博之	ウエイト	中部学生ボディビル大会	優勝
健康	飯田 貴洗	トレーニング部	中部学生パワーリフティング大会	66kg級：優勝/ベスリフター賞
心理	中村 廉	〃	中部学生パワーリフティング大会	83kg級：優勝
健康	山本 千夏	日本拳法部	中部日本学生拳法選手権大会	女子個人戦：優勝
経営	岡本 淳	ヨット部	中部学生個人ヨット選手権大会	470クラス：優勝
ビジネス	八木 理沙	洋弓部	東海学生アーチェリーインドア選手権大会	総合優勝
ビジネス	植村 優美	〃	東海学生アーチェリーインドア選手権大会	総合優勝
ビジネス	〃	〃	東海学生アーチェリー個人選手権大会	女子個人：優勝
日文	畔柳 未央	〃	東海学生アーチェリーインドア選手権大会	総合優勝
総合	松山 直樹	陸上競技部	東海学生陸上競技春季大会	男子やり投げ：優勝
経営	磯谷 隼大	水泳部	愛知県室内選手権水泳競技大会	50mバタフライ：優勝
歴史	木村 萌美	〃	中部学生春季室内選手権水泳競技大会	400m個人メドレー：優勝
法律	細川 慶	剣道部	全日本仏教系大学剣道大会	個人：3位
経営	前山 史帆	〃	全日本仏教系大学剣道大会	個人：3位
健康	和田 華澄	卓球部	東海学生卓球各部別大会	女子1・2部ダブルス：優勝
ビジネス	森島 康平	〃	東海学生卓球各部別大会	男子1・2部ダブルス：優勝
現社	中川 優	〃	東海学生卓球各部別大会	男子1・2部ダブルス：優勝
健康	村主 大輔	ソフトボール部	東海地区大学リーグ男子ソフトボール大会	ベストナイン
健康	南谷 純也	〃	東海地区大学リーグ男子ソフトボール大会	ベストナイン
ビジネス	松下 純一	射撃部	中部学生ライフル射撃選手権大会	10mエアピストル立射60発競技：優勝
日文	森川 真希	〃	中部学生ライフル射撃三姿勢大会	10mエアピストル立射60発競技：優勝
健康	二村 智代	空手道部	秋季東海地区空手道選手権大会	女子個人組手：優勝
健康	〃	〃	東海地区大学空手道選手権大会	女子個人組手：優勝
健康	〃	〃	東海学生空手道選手権春季大会	女子個人組手：優勝
心理	杉山 功貴	〃	東海地区大学空手道選手権大会	女子個人組手：優勝
心理	〃	〃	日本空手協会東海地区大会	一般男子組手：優勝
健康	青柳 京古	バレーボール部(女子)	VTVカップ	国際大会出場
現社	小山田有希	居合道部	東海学生居合道選手権大会	初段の部：優勝
歴史	後藤 貴都	〃	全剣道居合愛知県別選手権大会	初段の部：優勝
ビジネス	小川 晃平	軟式野球部	中日大学生軟式野球友好交流大会	最優秀打者
現企	加藤 正崇	〃	中日大学生軟式野球友好交流大会	最優秀投手

▷特別表彰

学科	氏名	業績
商	清水 孝廣	水難救助

この1年間、対外活動・試合などで優秀な成績を収め、本学の名声を高めた文化系・体育系クラブ(団体・個人)に対する「平成24年創立記念日クラブ表彰」が10月13日に行われた。

表彰の対象となる期間は平成23年10月1日から平成24年9月30日までの1年間。団体は、日本代表になったクラブ、全日本選手権大会で8位入賞まで、地方大会で優勝または準優勝、中部・東海地区大会で優勝、県大会で優勝したクラブ。個人は団体と同ランクの成績を取った者のほか、最優秀選手賞やベストナイン等を受賞した者、その他、活動が特に顕著であったクラブや個人。

今回は団体31クラブ、(うち歯・薬学部15クラブ)と個人105人(うち歯・薬学部・短大部51人)が表彰を受けた。

▷歯学部(団体の部)

クラブ名	大会名	成績
硬式野球部	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	第3位
硬式庭球部	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	男子団体：準優勝
サッカー部	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	準優勝
ボウリング部	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	総合優勝
卓球部	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	総合第3位
〃	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	男子団体戦：第3位
剣道部	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	女子団体戦：第3位
空手道部	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	総合優勝
〃	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	男子団体戦：優勝
少林寺拳法部	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	女子団体戦：第3位
〃	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	総合優勝
陸上競技部	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	団体演武の部：準優勝
〃	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	総合第3位
フットサル部	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	男子4×100mリレー：第3位
ヨット部	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	準優勝
バインドボール部	JPA Japan Cup 2011	総合優勝
〃	JPA Japan Cup 2011	ノービスクラス：準優勝
〃	JPA Japan Cup 2011	ビギナークラス：準優勝
〃	JPA Japan Cup 2011	ビギナークラス：シリーズ制覇

▷薬学部(団体の部)

クラブ名	大会名	成績
薬学部剣道部	第66回関西薬学生連盟剣道大会	男子団体：準優勝
〃	第66回関西薬学生連盟剣道大会	女子団体：優勝
薬学部硬式庭球部	第66回関西薬学生連盟硬式庭球大会	男子団体：優勝
薬学部卓球部	第55回全日本薬学生卓球大会	女子団体：3位

▷歯学部(個人の部)

学年	氏名	クラブ名	大会名	成績
1	杉本 真一	バドミントン部	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	男子シングルス：優勝
1	〃	〃	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	男子ダブルス：準優勝
1	望月 大智	〃	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	男子ダブルス：準優勝
1	早川 亜希	卓球部	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	女子シングルス：優勝
1	〃	〃	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	女子ダブルス：優勝
1	吉成 宏陽	〃	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	男子ダブルス：第3位
1	上田佳緒璃	〃	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	女子ダブルス：優勝
1	松井 義人	〃	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	男子ダブルス：第3位
1	岡本 直樹	ボウリング部	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	オールエベント：優勝
1	〃	〃	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	シングルス：優勝
1	今井 美希	〃	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	ダブルス：優勝
1	伊藤友紀子	〃	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	ダブルス：準優勝
1	國井 綜志	〃	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	オールエベント：準優勝
1	田中 翔	〃	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	ダブルス：準優勝
1	〃	〃	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	無段の部：第3位
1	佐藤 昂太	柔道部	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	個人戦73kg以下級：第3位
1	榎原 一宏	〃	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	個人戦：準優勝
1	加古 駿輔	空手道部	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	新人戦：第3位
1	杉野 大地	〃	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	男子個人戦 初・無段の部：準優勝
1	岩井 宏次	剣道部	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	男子個人戦 初・無段の部：第3位
1	山田 一洋	〃	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	男子個人戦 初・無段の部：第3位
1	近藤祐太郎	〃	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	男子個人戦 初・無段の部：第3位
1	今井 美希	少林寺拳法部	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	新入会の部：優勝
1	服部 尋香	〃	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	新入会の部：優勝
1	北村 匠	〃	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	新入会の部：準優勝
1	藺田 真	〃	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	新入会の部：準優勝
1	岩田 侑真	〃	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	段外の部：優勝
1	沼本真一郎	〃	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	段外の部：優勝
1	柏原 捷	〃	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	段外の部：準優勝
1	〃	〃	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	単独演武 段外の部：優勝
1	吉成 宏陽	〃	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	段外の部：準優勝
1	〃	〃	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	段外の部：第3位
1	前田 和樹	〃	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	段外の部：第3位
1	杉 香奈子	〃	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	初段の部：優勝
1	吉岡 真悠	〃	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	初段の部：優勝
1	小澤 智久	〃	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	初段の部：第3位
1	濱地 峻純	〃	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	初段の部：第3位
1	川原 優	〃	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	二段以上の部：準優勝
1	宮園 将也	〃	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	二段以上の部：準優勝
1	徳田 篤紀	〃	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	二段以上の部：第3位
1	〃	〃	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	単独演武 有段者の部：優勝
1	鳥井 祐作	〃	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	二段以上の部：第3位
1	内藤 裕嗣	日本拳法部	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	個人戦：第3位
1	木本 大規	アーチェリー部	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	新人男子：第3位
1	大森 直樹	水泳部	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	男子200m 平泳ぎ：第3位
1	橋本 佳樹	陸上競技部	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	男子110mハードル：第3位
1	伊東 雅哲	〃	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	男子800m：優勝
1	〃	〃	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	男子200m：準優勝
1	中道 瑛司	〃	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	男子400m：準優勝
1	西脇 崇介	ヨット部	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	男子走幅跳：第3位
1	鳥居 崇悟	〃	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	個人総合：準優勝
1	藤田 勇司	〃	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	個人総合：準優勝
1	丸山 陽平	〃	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	個人総合：第3位
1	〃	〃	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	個人総合：第3位

▷薬学部(個人の部)

学年	氏名	クラブ名	大会名	成績
1	阿知波侑子	薬学部剣道部	第42回中部歯薬学生連盟剣道大会	女子個人：優勝
1	〃	〃	第66回関西薬学生連盟剣道大会	女子個人：優勝
1	富永 丈誌	〃	第66回関西薬学生連盟剣道大会	男子個人：準優勝
1	宮田 真弥	薬学部硬式庭球部	第66回関西薬学生連盟硬式庭球大会	女子個人戦：準優勝
1	佐野 友香	薬学部卓球部	第66回関西薬学生卓球大会	女子シングルス：準優勝
1	〃	〃	第55回全日本薬学生卓球大会	女子シングルス：3位
1	森田 愛	薬学部陸上競技部	第12回全日本薬学生対抗陸上競技大会	100mハードル：準優勝
1	北村 有希	〃	第12回全日本薬学生対抗陸上競技大会	100mハードル：優勝

▷短期大学部(個人の部)

学年	氏名	クラブ名	大会名	成績
1	廣瀬 葵	スポーツ愛好会	第44回全日本歯科学学生総合体育大会	初段の部：優勝